

I:同志社大学の傾向と対策

★出題パフォーマンス(種類・形式・分野)★

- ① 全学部統一が1日間(2/5)、学部個別が5日間の6種類の問題がある
- ② 大問3問(75分間)で地域や時代はバランスが良く偏りなし、西洋:東洋=2:1か1:2、古代~中世:
近世から近代:近現代以降(戦後史含む)=1:1:1
- ③ 受験日によって、正誤の形式や難易度に少々の傾向あり *空所補充や一問一答には傾向無し
- ④ 空所補充 ... 大量語群からの用語選択と一問一答 *まず、語群を見ずに空所を埋めるべし!
- ⑤ 年代当て ... 有名事件&戦争の年代並べ替え *近年減少傾向にある(1日程で1問程度)
- ⑥ 正誤問題 ... 2~3文正誤(1~2行程度:やや難)・間違い探し・四択もあり
「正しい文の組み合わせ」「正文ならW・誤文ならR」「すべて選びなさい」などは
正答率が低い、用語の間違いでではなく概念的な文の正誤問題は難問
- ⑦ レベル ... 山川用語集頻度4以上(赤字)が7~8割程度、正誤問題でも用語面ではハイレベルは
いない、全体的に戦後史の出題は頻度1~3あり(やや難)
- ⑧ 文化史 ... 同年に大問で2問程度の文化史だけの出題が出る。
*具体的には、2020年は2.5問、2019年は2.5問、2018年は1.5問、
2017年は3問、2016年は1.5問、2015年は1.0問(過去6年間)
それ以外は、大問の中に1~2割程度の部分的出題(文化史の出題率は高い)
過去2~3年に以内に出題された単元が他学部(他日程)で出題されることが多い
- ⑨ 戦後史 ... 出題されやすい地域や分野がある(別ページ参照)
用語集レベルではあるが、事件・年代・人物をしっかりと各国別に学ぶ必要がある
戦後史出題されやすい(大問メインでの出題)学部・日程がある
*2/6は2020年に大問で久々出題、2/7は4年連続(2020年は少なめ)、
2/9は5年連続、2/10は2019年まで3年連続(2020年は出題無し)
- ⑩ 文化史と戦後史はどちらが怖い?
... 前述の学部は「戦後史」を捨てることはできないが、コンスタントに出題されているのは、間違いなく《文化史》だ! 平均17%が文化史関連問題なので注意が必要!

★傾向から読む絶対対策★

- ① 同一学部・日程で2年連続同じ単元や分野やテーマの出題は稀(2020年2/9が2019年2/9の出題単元4割酷似(*_*))。ただ、2~3年おきに類似したテーマや分野はある。

→ 志望学部の過去問にこだわるのは愚策、ただ、形式や出題方法・地域に目を通すことは必要(内容は当てにしない)

- ② 同一学部・日程で「過去に出題されている地域・国」の“違う時代・単元”が出題されている。

→ 志望する学部の過去問6年分の研究(解くのではなく、出題単元や分野をチェックして書き出すなど...)の徹底。頻出な地域・国の出題されていない時代を狙え!

- ③ スライド出題 ... 過去3年分の他学部の問題と酷似したテーマや単元が出題される傾向がある

→ 他学部の問題3年分の大問をチェックし、志望する学部はまだ出題されていない分野・単元を徹底して潰していく

- ④ 空所選択補 60% & 一問一答記述 or 年代 20% & 文章正誤問題 20% (四択と正誤組み合わせなど)の問題構成から自らの合格圏を狙う。

→ 空所補充と一問一答は基礎~標準レベルが多いので、ここで、できる限り稼ぎたい。8割取れば65%は越える。また、世界史である程度稼ぎたい受験生は、さらに正誤問題を半分は取りたい。正誤問題を多く出題する他大学の正誤問題演習(関学・南山などの過去問)を徹底したい。ただし、歴史用語の概念的な正誤や社会経済の正誤は難問、正直落としても合否に関わらないので焦ることは全くない。

- ⑤ 中国史は、同年・同一学部とも同じ単元はあまり出題されない。

→ 昨年・一昨年に他学部で出題されている & 志望する学部でまだ出題されていない単元・テーマをチェックしてから受験に臨む。学部別ナショナリズムデータを参照すべし。

⑥ 毎年、流行する単元・テーマや地域・国がある。具体的には・・・

2019年 単元・テーマ

3日程 大航海時代、西欧の植民活動、朝鮮王朝

2日程 北方民族、四書五経、科学技術、ラテンアメリカ独立、世界恐慌、アフリカ独立

*地域・国 = イラン、ラテンアメリカ、朝鮮半島

2020年 単元・テーマ

3日程 神聖ローマ帝国、宗教改革、フランス革命～ナポレオンⅠ世

2日程 中世都市、絶対王政、カリブ海政策、朝鮮戦争、黒人問題、マリン=ロード

*地域・国 = ドイツ、フランス、アフリカ、イベリア半島、インド

⑦ 本年度に狙われやすい〈単元・テーマ〉&〈国や地域(流行)〉が 2/5・2/6・2/7(最初の3日間)の入試問題から見える

→ 本年度入試問題の入手が絶対条件! または、どうしても同志社という受験生は学部にこだわらず、複数受験をせよ!